

第2学年 第5時指導案 【日本の食糧自給率を考える】

1. ねらい

普段食べている料理を調べる活動を通して、食料の多くを海外に依存していることに気づき、食糧自給率の問題について自分なりに考える。

2. 準備

[教師]教科書 地図帳 資料プリント ワークシート パソコン プロジェクター 画像データ

[生徒]教科書 地図帳

3. 展開

生徒の学習活動	支援、指導上の留意点	時間
<p>“和食”「天ぷらそば」の材料を考える活動を通して、多くの食料が海外から輸入されていることに気付く。</p> <ul style="list-style-type: none"> 郷土料理には、地元の食材が使用されているでも、あまり食べていない エビや大豆は日本のものが少ない そばのつなぎや衣の小麦はアメリカから来ている そば粉は中国からたくさん来ている 	<p>伝統的に食べられてきた食品は、その地域で作られる食材を使っており、環境条件に影響を受けている。そのことを、群馬県の郷土料理である「おきりこみ」や「焼きまんじゅう」を例に説明する。その後、“和食”について、その材料がどこで作られているのか、自給率がどのくらいなのかを説明する。生徒に予想をさせた上で説明をするが、どこで作られているか予想するのは難しいので、自給率を予想させる。</p>	10
<p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">日本の食糧自給率は上げた方がよいのだろうか？このままでもよいのだろうか？</p>		
<p>食糧自給率の概要について、統計資料を調べたり、説明聞いたりする活動を通して理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本の食糧自給率は低い 小麦は約90%が輸入 果物は半分以上が輸入 肉類は半分近くが輸入 米以外はほとんどが輸入されている <p>食糧自給率を上げた方がよいか、それとも現状のままでよいか、自分なりに考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 相手国と仲が悪くなって、輸入が止まったら困るので、自給率を上げた方がよい 日本は工業国だから、食料は外国に頼り、安く買った方がよい 	<p>国内農業を保護するために、輸入農産物には関税がかけられていること、自由化されたものがあること等、具体的な品目を例に挙げて説明する。</p> <p>食料の海外への依存状況について、具体的な品目を例に挙げながら、理解させる。</p> <p>説明の後、 について考えやすいよう、問題点を整理し直して提示する。</p> <p>上げた方がよいか、現状のままか、立場を明確にしてから考えさせる。根拠をはっきりさせるうちに立場が変わるのはよいことを告げる。</p> <p>意見を書けない生徒には、机間指導中に参考になる資料を示す。必要に応じて、書けている生徒の回答を模範として示したり、教師から回答例を示したりする。</p> <p><u>【評価】食糧自給率の問題を自分なりに考える</u> (ワークシート・観察)《考》</p>	25
<p>群馬県など、全国で行われている「地産地消」運動など、食糧自給率向上に対する動きについて知る。</p> <p>本時の学習で分かったことや感想を書く。</p>	<p>群馬県制作の「すすくカルタ」の札や給食で出された地元産食材を使った料理を提示し、生徒が身近に感じられるようにする。</p> <p>毎時、同じ質問に同じ形式で答えさせ、その変容を把握して、次時の指導へ生かす。</p>	10

【資料】kob 2年(5) 日本の食糧自給率を考える

世界から来る、日本の食料

【天ぷらそば】

- そば 自給率 21% (輸入: 中国 72%)
- エビ 自給率 5% (輸入: インドネシア 20%、ベトナム 18%、タイ 11%)
- 小麦 自給率 14% (輸入: アメリカ 48%、オーストラリア 20%、カナダ 17%)
- 大豆 自給率 4% (輸入: アメリカ 71%、ブラジル 16%、カナダ 3%)

【畜産】 牛肉(39%) 豚肉(53%) 牛乳・乳製品(69%) 家畜のエサ(24%)

【その他】 ジャガイモ(80%) 海藻(62%) 果物(44%)

食料の輸入が止まったら・・・(2020kcalの食事)

2020kcalの食事(昭和20年代後半の水準)

- 【朝】ごはん1膳(精米75g分) ふかしいも2こ(300g) むかづけ1皿(90g)
- 【昼】焼きいも2本(200g) ふかしいも1こ(150g) リンゴなど4分の1こ(50g)
- 【夜】ごはん1膳(精米75g分) 焼きいも1こ(100g) 焼き魚1切れ(84g)
- 調味料~砂糖小さじ6はい、油小さじ0.6はい
- 【たまに】 ・うどん(2日に1はい) ・みそ汁(2日に1はい) ・納豆(3日で2パック)
- ・牛乳(6日に1はい) ・たまご(7日に1こ) ・肉(9日に1回)

農産物輸入自由化と関税

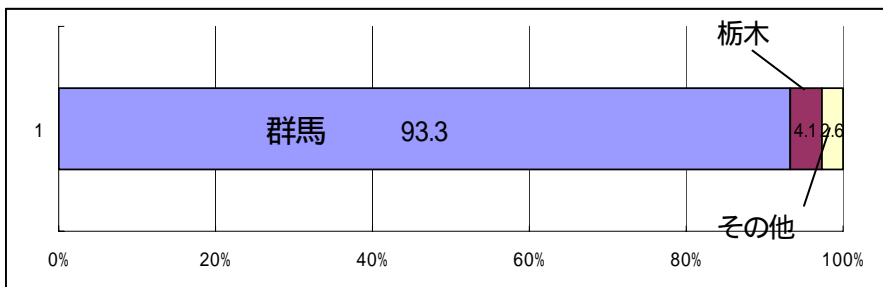
関税の中で、特に国内の産業を保護するために輸入品に課すものを「保護関税」という。

コメなどの高関税品目については、一定の量(コメの場合76.7万t、コンニャクイモの場合6.5万t)を超えない範囲の輸入に限り無税または低税率の関税(1次税率)をかけ、超えると比較的高率な関税(2次税率)を課す。 **税率等変更される場合があります。**

品目	1次税率	2次税率	対平均輸入価格比率
コメ	無税	341円/kg	490%
小麦	無税	55円/kg	210%
落花生	10%	617円/kg	500%
コンニャクイモ	40%	2796円/kg	990%

コンニャクイモの生産に関しては、群馬県人には知られていることであるが、全国1位の生産量である。およそ90%のシェアである。昭和村や子持村など、県内の山麓地域で広くたくさん生産され

ている(製粉=コンニャクイモを粉にする、ことでは下仁田町がトップ)。



コンニャクイモの生産 [農林水産省資料]
(2002年)全国合計6.5万t

食糧自給率について考えよう

食糧自給率はそのままでよい	食糧自給率は上げた方がよい
<ul style="list-style-type: none"> ■ 日本は自動車などを輸出している ■ 世界的な分業(日本は工業) ■ 自由な貿易を! ■ 相手国が儲かる ■ 後継者が不足している ■ 安い 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 飢餓に苦しむ国がある中、世界の食糧が集まる ■ 相手の国の事情に合わせなければならない(不作、値上げ、輸出規制) ■ 相手国と不仲(戦争など)になったら・・・ ■ 安全面で不安 ■ 日本の産業・文化がとだえる

天ぷらそばの材料はどこから来ているのか？
日本でとれる量を予想しよう。

天ぷらの**エビ**

_____ %

油や醤油の**大豆**

_____ %



そば 粉の原料

_____ %

天ぷらやそばのつなぎの
小麦

_____ %

食糧自給率を調べてみよう (地図帳p109)

米	() %	果実	() %	調べて分かったこと・思ったこと
野菜	() %	小麦	() %	
魚介類	() %			
肉類	() %	・全体	40 %	

食糧自給率はそのままでよいか？
上げた方がよいか？

1. そのままでよい

2. 上げた方がよい

選んだ理由

授業はおもしろかったですか？

A. たいへんおもしろかった

B. おもしろかった

C. あまりおもしろくなかった

D. おもしろくなかった

今日の授業の感想

.....

.....

.....